

平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	所管部局	経済部	作成責任者	経済部食産業振興監 小野塚修一	施策コード	05	02
		照会先	食関連産業室食品産業G (内線26-816)	関係課	経済部食関連産業室			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		2 経済・産業	(2)本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造		地域資源を活かした食関連産業の振興		商談会等における国内成約件数	
	北海道創生総合戦略		A3212,A3214	北海道強靱化計画	B4221	新・北海道ビジョン	C00908,C01202,C02204,C03102,C05804、C08905	
	特定分野別計画等							

現状と課題	<p>・本道の食品工業は、平成26年の製造品出荷額が22,098億円(全国シェア6.2%)で全国2位。製造業全体の33.1%を占め、地域の経済や雇用を支える重要な産業として発展。素材提供型の色合いが強く、付加価値額は5,748億円で全国6位、付加価値率は26.0%で全国の32.1%と比較して6.1ポイント低い。国内の食市場は、人口減少や高齢化の進行などにより縮小傾向にあるとともに、食品の安全性・環境への関心の高まりや激しい市場競争、地域間競争、TPP協定交渉の合意などにより、その取り巻く環境は大きく変化。</p> <p>・マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、今後、経済発展や人口増加などにより市場拡大が見込まれるアジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要。</p>	施策目標	<p>・民間と協働した付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、道内外に向けた道産食品の販路拡大を行う。</p>
-------	--	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>{道}</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築 アンテナショップである「北海道どさんこプラザ」の運営支援 道内企業の販路拡大、物産振興事業に対する補助 道庁道産展示品コーナーの活用 	<p>{国}</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間や地域の取組のバックアップ <p>{民間}</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏における道産品の展示、販売斡旋、マーケティング支援等を行う「北海道どさんこプラザ」の運営 	施策の予算額	
			H27	61,443
			H28	60,647
			H29	

今年度の主な取組	<p>包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップにより販路拡大事業を実施する。</p> <p>首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援する。</p> <p>道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助する。</p> <p>道産品展示コーナーを活用した道産品の募集、展示を実施する。</p>
----------	--

・主要指標に係る取組
 ・その他の取組

Do & Check 施策評価

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
首都圏における道産品の展示販売や斡旋・企業のマーケティング支援などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援した。平成27年度のどさんこプラザ有楽町店の売上額は1,001百万円で、前年度比9.3%の増加となった。		A3212, A3214	B4221	C01202, C02204, C03102, C05804, C08905
道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助金の交付決定を行った。平成28年6月に開催した北海道産品取引商談会(札幌会場)には、346社が出展、1,960名のバイヤーが参加し、商談の機会が創出された。		A3212, A3214	B4221	C01202, C02204, C03102, C05804
平成28年5月、外国人居住者に向けたテストマーケティング等を行うため、倶知安町内に北海道どさんこプラザ札幌店のサテライト店を出店した。				C00908
「楽天市場」内に開設している「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、現在どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図ることで、道産品の更なる販路拡大を推進した。平成27年度の売上高は31,492千円となった。		A3212	B4221	C01202
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	・「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の充実・発展に向けた支援の拡充や、食クラスター活動の展開に対する支援の強化、道産食品の輸出拡大に向けた環境整備の推進などについて、必要な要望を国に対して実施した。(平成27年7月21日、22日)	施策に関する 道民ニーズ		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の 位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	保健福祉部や農政部、水産林務部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	N0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	・保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施や食中毒情報の共有などを図った。 ・シンガポールでの道産食材PRイベント等の実施にあたり、農政部及び水産林務部の海外販路拡大事業と連携して取組を実施している。
		N0704	水産林務部水産局水産経営課	
		N0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
		N0501 N0503	経済部食関連産業室	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H37					
商談会等における国内成約件数		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H27	道や団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により、出展企業数、参加パイヤー数が増加しており、これに伴い成約件数も増加している。
		基準値	3,422	目標値	3,561	最終目標値	4,300	年 度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕 国内で道や団体等が主催する商談会の開催により成約となった取引件数	根 拠 計 画	増減方向		達成率の算式		目標値	3491.0	3561.0	4300.0			
		増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		実績値	3611.0	-	3611.0			
		北海道総合計画				達成率	273.9%	-	84.0%			

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標	1					
	関連指標						

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標		<p>< 商談会等における国内成約件数[A] > ・道や団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により、出展企業数、参加バイヤー数が増加しており、これに伴い成約件数も増加している。</p>	<p>< 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか > ・道産品の販路拡大に関して、効果的な取組を推進していることが認められる。</p> <p>< 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか > ・「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の充実・発展に向けた支援の拡充や、食クラスター活動の展開に対する支援の強化、道産食品の輸出拡大に向けた環境整備の推進などについて、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。</p> <p>< 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか > ・商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。</p> <p>< 施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか > ・保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施や食中毒情報の共有などを図っており、成果が確認できる。 ・シンガポールでの道産食材PRイベント等の実施にあたり、農政部及び水産林務部の海外販路拡大事業と連携して取組を実施することを検討している。</p>	+ 評価
関連指標				

総合評価	概ね順調に展開	評価の要	指標の達成度合が順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	------	----------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	商談会等における国内成約件数は目標に対して順調に推移しており、今後も商談会の開催により商談機会を創出し、道産食品の販路拡大を図る。		A3212、A3214	B4221	C00908、C01202、C02204、C03102、C05804、C08905

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	02
-----	-----------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05032799	民間企業等との提携・タイアップ事業に関する こと					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05032800	道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示 所運営費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
05032900	貿易物産振興事業費補助金((一社)北海道貿 易物産振興会)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
05033099	北海道どさんこプラザに関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05033199	情報提供に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05033299	北海道貿易物産振興会に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05033300	在道都府県協議会に関する事務(総務管理諸 費)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05033499	北海道物産展の後援、道産品販売促進キャン ペーンに関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	02
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> 「北海道どさんこプラザ有楽町店」において、提案型コーナーの新設等のリニューアルを実施。（道産品販路拡大促進費（北海道物産観光展示所運営費）） 道産食品の販路拡大に向け、外国人に向けたマーケティングを行うため、倶知安町に北海道どさんこプラザ札幌店のサテライト店を設置。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 02
-----	-----------	-------	-------

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	6 事業	2 事業	事業	事業	事業	8 事業
反映結果	事業	事業	7 事業	1 事業	事業	事業	事業	8 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業